

あ と が き

報告書の完成の時期が新学期のスタートと重なりました。新学年の児童生徒の顔、表情を想い浮かべながら、調査研究を推進してまいりましたが、この研究結果が、今後、児童生徒の学力向上に何らかの形で反映していくとすれば、報告書の完成はゴールではなくて、スタートなのだと思います。

ところで、平成7年度と9年度の到達状況を比較してどのように感じられたでしょうか。校種、教科によって受け止め方が異なると思いますが、本県の重要な教育課題の一つである「学力向上」に向けて、一つの指標を提言できたのではないかと考えています。今後、この報告書が、教科指導の改善、授業の改善及び各校種間の連携のための一助となれば幸いです。

平成9年度「学力向上調査研究」担当

水野 信	宮前 貢	橋本佑一郎	遠藤 光	秋山 芳廣
土屋 悦男	山田 哲三	高野 博幸	今泉 勝行	伊達多津也
古田 研寿	佐原 聡	武藤 誠	菅井 明人	星 英一
尾形 幸男				